

V10 シリーズの制限事項について

V10 シリーズは、V9 シリーズ対応の規格・機能において一部制限事項があります。

1. 規格制限

機能	ハード Ver.	対応時期
ANSI/ISA	a : 未対応	2023年6月取得予定
船級	a : 未対応	2023年10月取得予定

2. 機能制限

機能	V-SFT Ver. 6.2.0.0	対応時期
1) ビデオ/RGB	×	2024年4月予定 * V10 用オプションユニット開発中
2) PictBridge 印刷	×	2023年10月予定
3) VNC サーバ ・ KeepAlive 機能	×	
4) 操作ログ ・ VNC クライアントのユーザー名/MAC アドレス 保存	×	

3. 機能制限に関する詳細

1) ビデオ/RGB

V10 用オプションユニットを開発中です。V9 用オプションユニット「GUR-xx」は V10 シリーズ非対応です。

<画面データ>

- ビデオ/RGB パーツは新規配置できません。
- 旧機種から変換時、ビデオ/RGB パーツがあるとエラーチェックで警告が出ます。

<V10 本体動作>

- エラーチェックで警告が出ていても V10 本体は RUN します。ただし、ビデオ/RGB 表示領域は非表示です。
- ローカル画面には「セットアップエラー」が出ます。

2) PictBridge 印刷

PictBridge 対応プリンタでの印刷はできません。

<画面データ>

- プリンタ機種で「PictBridge」は選択できますが、エラーチェックで警告が出ます。

<V10 本体動作>

- エラーチェックで警告が出ていても V10 本体は RUN します。ただし、印刷はできません。
- ローカル画面に Warning も出ません。

3) VNC サーバ設定 : KeepAlive 機能

V10 シリーズでは動作しません。

<画面データ>

- [システム設定] → [Ethernet 通信] → [VNC サーバ] で [KeepAlive 設定] は設定できますが、エラーチェックで警告は出ません。

VNCサーバ設定

VNCサーバ機能の設定を行う

ユーザー名	パスワード	MACアドレス	接続許可デバイス	リモート操作許可
VNC	***			あり

接続優先設定
 先優先 後優先

占有制御デバイス 内部 0 \$J 16560-00

KeepAlive設定
タイムアウト時間 15 *sec
確認周期 5 *sec
リトライ回数 3 回

OK キャンセル

4) 操作ログ機能 : VNC クライアントのユーザー名/MAC アドレス保存

V10 本体の操作ログと VNC クライアントの操作ログを区別できません。VNC クライアント側で操作したログのうち、ユーザー名と MAC アドレスは空欄になります。

<画面データ>

- [システム設定] → [その他] → [操作ログ機能] で [VNC による操作を保存する] にチェックを入れてもエラーチェックで警告は出ません。

操作ログ設定

操作ログ機能を使用する SRAM使用ワード数 [38400 / 409472 ワード]

ログ対象

- 起動
- 転送
- 転送方式を保存する
- モード切替
- 画面切替
- 言語切替
- スイッチ
- データ表示更新
- スクリーンショット

SRAM保存回数 100 / 471

ストレージ接続先 内蔵ノット USBポート

保存先容量不足時の動作 古いログを消去して継続

制御デバイス \$J16330

コメント切替言語数分保存する
 VNCによる操作を保存する
 操作ログビューアをV8互換表示する

再登録

OK キャンセル

以上